

天敵チュウゴクオナガコバチによるクリタマバチの防除

クリタマバチはクリの芽に産卵し、幼虫で越冬する。4月上・中旬の発芽期に幼虫の寄生した芽は異常に肥大して、赤みをおびた虫えい（虫コブ）ができる。そして新梢の発育が止まり、樹勢が弱くなり収量が減る。このためクリタマバチはクリの生産を阻害する重要害虫である。薬剤による防除もできるが、経費を要することから十分な防除が行われていない。

クリタマバチにはチュウゴクオナガコバチという天敵がいる。このオナガコバチはクリの芽に寄生するクリタマバチの幼虫をめがけて卵を産みつけ、幼虫になってクリタマバチ幼虫を食い殺すものである。オナガコバチ幼虫は、そのまま虫こぶの中で越冬し、春先に羽化する。そこで羽化の前に、この虫こぶを集めて人工羽化させ、交尾した雌成虫をクリタマバチ被害園に放って、天敵として利用しようというわけである。同じような天敵で在来種のクリマモリオナガコバチもいるが、3月から4月上旬にかけて羽化発生し、虫こぶが発達する時期と少しずれるため、天敵としての効果が小さい。チュウゴクオナガコバチは雌成虫が4月中旬を中心として羽化するた

め、虫こぶがふくらみ始める時期と一致し、天敵としての効果が大きいと考えられる。

試験場では平成2年度からチュウゴクオナガコバチを導入し、大洲市、中山町、広見町などクリの主要生産地に放飼して、寄生の状況などの調査を続けている。今のところ、まだ成果はあがっていないが、今後、天敵の寄生が多くなれば、クリタマバチ被害の軽減が期待される。

表1 チュウゴクオナガコバチの放飼状況

放飼地点	放飼日	放飼数
中山町 栗田	2年4月16日	♀400
	5年4月19、26日	♀133 ♂69
広見町 岩谷	2年4月17日	♀180
	6年4月19、22、27日	♀66 ♂12
三間町 迫目	4年4月14、20日	♀160 ♂130
内子町 干部	5年4月13、19、26日	♀195 ♂90
城川町 程野	5年4月13、19、26日	♀195 ♂89
三間町 則	6年4月19、22、27日	♀65 ♂22
松野町 目黒	6年4月19、22、27日	♀67 ♂14
日吉村父野川上	6年4月19、22、27日	♀67 ♂24
大洲市 札掛	7年4月17、21、28日	♀352 ♂262
中山町 福元	7年4月17、21、28日	♀352 ♂298

(虫害班：主任研究員 窪田聖一)



チュウゴクオナガコバチの雌成虫

編集発行 愛媛県立果樹試験場
〒791-01
松山市下伊台町1618
TEL 089-977-2100
FAX 089-977-2100